

令和元年第7回定例会

江東区教育委員会会議録

令和元年7月26日（金）

江東区教育委員会

令和元年第7回江東区教育委員会定例会会議録

- 1 開会年月日 令和元年7月26日(金)午前10時00分
- 2 閉会年月日 令和元年7月26日(金)午前10時50分
- 3 開会場所 教科書センター(江東区教育センター内)
- 4 出席委員 岩佐哲男(教育長)、橋本俊雄(教育長職務代理者)、
進藤孝、眞貝裕利子、鈴木清人
- 5 出席職員 武越教育委員会事務局次長、
岩井教育委員会事務局参事 庶務課長事務取扱、
谷川学校施設課長、太田整備担当課長、大町学務課長、
伊藤指導室長(教育センター連絡調整担当課長兼務)、
堀越教育支援課長(教育センター所長兼務)、
池田地域教育課長、栗原江東図書館長
佐久間主任指導主事

6 報告事項

- (1) SNS教育相談について

7 協議事項

- (1) 令和2年度中学校教科用図書採択について(特別の教科道徳を除く)

8 審議概要

岩佐教育長 定刻になりましたので、ただいまより令和元年第7回江東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議の全案件について傍聴したい旨、5名の申し出がありました。江東区教育委員会傍聴規則により傍聴を認めますので、事務局は速やかに傍聴人を入室させてください。

本日の会議録署名委員をご指名いたします。眞貝委員、鈴木委員にお願いいたします。

それでは、これより報告事項に入ります。

報告事項(1) SNS教育相談についてを事務局より説明願います。

堀越教育支援課長 恐れ入りますが、資料1をごらんいただきたいと思います。

SNS教育相談について、ご報告申し上げます。子供たちの抱える多様な悩み事への対応として、学校では教員・スクールカウンセラーなどが、教育相談に取り組んでいるところであり、教育センターではワンス

トップ型相談窓口を構築して、相談体制を強化しているところでございます。さらに子供によっては、対面による相談を苦手とする子供もいますので、その対応を進めるため、気軽に利用できるSNSを活用した教育相談を実施し、相談体制の充実を図ってまいりたいと考えているところでございます。

本事業につきましては、今年度、初めて江東区で取り組む事業でございます。

内容について、ご説明申し上げます。

1、目的でございますが、いじめ、不登校、友人関係、家庭環境等、さまざまな悩みを抱えながらも、誰にも相談できない生徒に対して、SNSを活用した教育相談を実施し、問題の深刻化を未然に防ぐ、こちらを目的としております。

2、対象については、区内の中学校・義務教育学校の後期課程の生徒としております。

3、実施期間でございますが、令和元年8月26日月曜日から9月8日日曜日の2週間。長期休業明けのリスクの高いこの時期に、焦点を絞って設定しているところでございます。

4、相談時間でございますが、午後5時から午後9時まで。午後5時までは、ワンストップ型の教育相談の電話相談等ができますので、あえて夕方の時間に絞って設定をしているところでございます。

5、相談方法の概要でございますが、(1)として、対象の生徒はスマートフォン等を利用して、アプリを起動して相談したい内容を送信する形になります。(2)として、委託業者の心理相談員がLINE上で相談に応じる形になります。(3)として緊急の案件につきましては、委託業者よりただちに教育委員会に連絡が入り、教育委員会のほうで動いて対応をしていくという形になります。

6、周知方法でございますが、(1)「こうとうの教育」7月21日号については、既に掲載済みでございます。(2)区のホームページにも掲載をして、啓発を図っていきたいと思います。ただし、QRコードにつきましては、中学生対象ということでございますので、ホームページ上には載せない形になります。(3)中学生の保護者向けにつきましては、QRコードつきの案内文を既に7月中に配布しているところでございます。(4)生徒にQRコードつきの案内カードを配付してまいります。こちらは既に学校のほうには送っておりますが、夏季休業明けの8月26日に直接子供に渡すという形で、学校に通知しているところでございます。特に本事業は、不登校等でなかなか表に出たり、相談したりが苦手なお子さんも対象としておりますので、不登校などで当日、夏休み明け初日に欠席の生徒に対しましては、家庭訪問などをして速やかに確実に本人に渡すよう、学校に対して通知をしているところでございます。

7、委託業者でございますが、トランスコスモス株式会社。こちらは指名競争入札により決定いたしました。こちらは、東京都教育委員会のLINE相談等、実績のある会社でございます。

裏面をごらんいただければと思います。

8、事後の報告でございますが、（1）委託業者が実施報告書を作成してまいります。（2）として、その実施報告書に基づいて、実施・分析結果についての検討会を教育委員会事務局のほうで開催させていただいて、今後のさらなる活用に向けて課題を整理して、広げてまいりたいと考えているところでございます。

9、各種イメージということで、生徒に配付するカードのイメージと、実際のLINEの相談画面のイメージを載せさせていただきました。

報告は以上でございます。

岩佐教育長 それでは、本件について質疑願います。

眞貝委員 これは、対象は区内の中学校・義務教育学校とありますけれども、例えば、保護者から子供に対する相談というのは、受け付けるのでしょうか。

堀越教育支援課長 保護者の相談については、この件については対象外になります。保護者の相談については、教育センターのワンストップ相談窓口で受けます。そういった案内も、保護者についてはこちらにご連絡くださいというような案内メッセージも、このLINEの中に載せる形で進めたいと思っています。

以上でございます。

眞貝委員 わかりました。

岩佐教育長 6、周知方法の（3）中学生保護者向け案内文を配布と、この案内文の中に何かそういう趣旨のものは書いてあるのですか。

堀越教育支援課長 保護者向けの案内は、あくまでも本事業が生徒向けであるということと強調して、通知をしているところでございます。なお保護者については、ワンストップ型教育相談窓口という形で、進んでいくと案内されるような形を考えています。

鈴木委員 委託業者、トランスコスモスであります。指名競争入札ということなのですが、何社入札で入札金額が幾らだったかというのを教えていただきたいのですが。

堀越教育支援課長 申しわけありません。トランスコスモス株式会社、ちょっと今は手持ちがないので大変申しわけありません。後ほど、金額については報告をさせていただきたいと存じます。

入札の会社でございますが、5社程度、契約のほうから声をかけて指名競争入札という形になります。ただ、他県等でやっている実績のある会社というところ限定して、声かけをさせていただいているということでございます。

以上です。

進藤委員 相談方法概要の5の(2)なんですけど、委託業者の心理相談員がLINE上で相談に応じるということなのですが、このデータは全て、江東区の教育委員会のほうにデータとして残るのですか。

堀越教育支援課長 相談内容につきましては、日報という形で翌日に全て報告があります。

進藤委員 そういいますか。

堀越教育支援課長 ただ、相談者の個人情報については、本区のほうには戻ってこないという形になります。

進藤委員 誰が受けたかということは。

堀越教育支援課長 相談内容のみ、そういうことになります。

進藤委員 ありがとうございます。

堀越教育支援課長 ただ(5)にあります緊急案件については、可能な限り対応に必要な情報については、いただけるといことになります。

進藤委員 わかりました。

岩佐教育長 よろしいでしょうか。ほかには。

先ほど、必ず対象になる子供全員にカードが届くようにということでしたけれども、とりわけ不登校だとか学校に来られなくなっている子供自身に、確実にこのカードが届くことが大事だと思うのですけれども、多分、学校は夏休み中に家庭訪問とか何かするときに、26日より前に配ってもいいのかなと思うのですが、そこら辺はどうなのですか。

堀越教育支援課長 そういったことも想定していて、既に学校のほうに生徒分のもはもう送付してございますので、学校が柔軟に対応する形になっています。

夏休み明けが近い段階で、改めて各学校の校長に対して、準備方お願いしますと。対応については、進めてくださいという形で周知したいと思います。

以上です。

岩佐教育長 とりわけ学校に来られなくなっている子供に確実に、全員に渡るような工夫を、改めて確実にやっていただきたいと思います。よろしく願います。

よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 それでは、本報告を終了いたします。

これより協議事項に入ります。協議事項(1)令和2年度中学校教科用図書採択について(特別の教科道徳を除く)を議題といたします。

なお、審議に入る前の確認事項といたしまして、今回の教科書の採択に係る公正な選定・採択手続を期するために、本委員会の教科書採択の資料及び会議録については、採択が終了した後に情報公開に付すことといたしたいと思いますが、ご異議はありませんでしょうか。

(「意義なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 それでは本案について、事務局から説明願います。

伊藤指導室長 今回の教科書採択では、昨年度採択しました特別の教科道徳以外の教科書、令和2年度の1年間、中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科書について、採択していただくこととなります。

本案につきましては、先に開催されました4月の教育委員会におきまして、令和2年度に使用する中学校用教科用図書は、学習指導要領改訂により、令和3年度から新学習指導要領の教科用図書を使用するため、採択された教科書の使用期間は4年間ではなく、令和2年度のみ1年間だけとなること。また、平成30年度の教科用図書検定において、新たな図書の検定申請がなかったため、既に調査・研究を行っている平成26年度検定合格図書の中から、再度採択を行うこと。以上のことを踏まえ、令和元年度教科用図書採択については、調査部会及び採択資料作成委員会を設置せず、平成27年度江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会結果報告書をもとに、本委員会において採択することを委員の皆様からご了承いただいているところです。

それでは、ご説明させていただきます。

資料2、中学校教科書教科別発行者一覧をごらんください。ここに示されている教科書は、令和元年度現在、江東区立中学校及び義務教育学校後期課程で使用している特別の教科道徳以外の教科書となります。平成27年度に本区に見本本が送られてきた全ての教科書についての詳細な研究と、採択資料作成委員会での審議の結果をまとめて、教育委員会

に提出されたものが、資料3、江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会結果報告書でございます。

これより、主任指導主事が資料3、江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会結果報告書についてご説明しますので、よろしくお願いたします。

岩佐教育長 それでは、江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会結果報告書について説明願います。

佐久間主任指導主事 資料3、江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会結果報告書をごらんください。審議報告について、ご説明いたします。

国語についてです。発行者は5社です。

内容の選択。1点目、東京書籍は基礎編の「学びを支える言葉の力」の中で、文章表現、読解のポイントが具体的に示されている。2点目、学校図書は「発見する読み」が各学年に設定され、発達段階に応じた配列になっている。また、学習するポイントが文章で丁寧に示されており、学習の見通しが持ちやすくなっている。3点目、三省堂は「漢字のしくみ」「ことば発見」「文法のまとめ」等では、練習問題を設けて、繰り返し学習することにより、基礎・基本の定着を図っている。4点目、教育出版は「読むこと」の教材末に「みちしるべ」「ここが大事」を示し、目標を掲げるとともに学習内容の解説をしている。5点目、光村図書出版は各学年、年間4カ所に設けた「季節のしおり」では、四季にちなんだ言葉や作品、俳句等を紹介し、豊かな感受性とともな育まれた伝統的な日本の言葉に触れる機会を持てるように工夫している。

そのほか、構成・分量は5点、表記・表現については5点、使用上の便宜については5点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として6点が示されています。国語については、以上です。

なお、採択資料作成委員会で話題になった主なポイントは、1点目、基礎・基本の確実な定着について。2点目、伝統的な言語文化の充実と、俳句教育等とのかかわりについてなどとなっています。

続いて、書写についてご説明いたします。

発行者は5社です。はじめに内容の選択。1点目、東京書籍は、行書の導入で筆の動きを4つのパターンで展開していて、より実践的な行書が書けるよう配慮されている。2点目、学校図書は、硬筆教材には書き込むスペースが確保されており、各章の最後に「書いてみよう」や「確かめよう」のページが設けられているので、学習内容の定着を図ることができる。3点目、三省堂は、目的や相手を意識して書く習慣をつけられるように、手紙や掲示物などを書く活動が設定されている。4点目、教育出版は、「文字の変遷」や「あの人が残した文字」など、生徒の興味・関心を高める資料が充実している。5点目、光村図書出版は、学校

生活に役立つもの、ポスターやカレンダーなど、絵手紙や本の帯の作成が掲載され、日常生活に生かす工夫がなされている。

そのほか、構成・分量につきましては5点、表記・表現について5点、使用上の便宜について5点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として5点示されております。書写については、以上です。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、生徒と教員の使いやすさについて。2点目、筆順などの基礎・基本がきちんと学べるものについて、などとなっております。

続いて、社会の地理的分野について。発行者は4社となります。

内容の選択1点目、東京書籍は、疑問を生徒に問いかけながら進行する構成になっており、言語活動の充実を促した発問を單元ごとに設けている。2点目、教育出版は、巻頭に「地理にアプローチ」というページを5ページ分設け、地図やグラフの読み取り方について詳しく解説することで、資料を使った主体的な学習ができるように工夫されている。3点目、帝国書院は、大陸の特徴をよく捉えている略地図と、その描き方が掲載されている。単元の終わりにある「学習の振り返り」のページは、生徒の発達段階に応じてつくられている。日本文教出版は、各章の導入に「ナビ」というコーナーを設け、生徒の学習への意欲を高める内容になっている。

そのほか、構成・分量5点、表記・表現4点、使用上の便宜4点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として4点示されています。

なお、採択資料作成委員会で話題になった主なポイントは、1点目、地理の学習で大切なことについて。2点目、言語活動の取り扱いについて、などとなっております。

続いて、社会の歴史的分野について。発行者は8社です。

内容の選択1点目、東京書籍は、「歴史スキルアップ」のページを各章末に設け、調べ方やまとめ方、発表の仕方などを具体的に示し、生徒が主体的に学習することができるようになっている。

2点目、教育出版は、学習する時代のタイトルと学習課題が示されている。「ふりかえる」では、学習のまとめができ、基礎・基本の習得に役立つ。

3点目、清水書院は、学習の「めあて」と「まとめ」が明示されており、毎時間の振り返りと、各章のまとめをすることで、基礎・基本の確かな定着が図られるようになっている。

4点目、帝国書院は、「学習課題」「確認しよう」で学習のねらいとまとめが明示され、生徒の主体的な学習を促すことができる。「説明しよう」は、言語活動に生かすこともできる。

5点目、日本文教出版は、「学習課題」と「学習の確認と活用」があ

り、基礎・基本の定着を図っている。章末の「学習の活用」では、言語活動を促進する配慮が見られる。

6点目、自由社は、学習の最後に「まとめにチャレンジ」として学習の振り返りができ、学習した内容を表現するなどの言語活動を充実させるための課題が設定されている。

7点目、育鵬社は、「課題学習」を活用することで、主体的な学習を促すことができる。

8点目、学び舎は、近現代史の扱いが全体の約半分を占める内容となっている。

そのほか、構成・分量について8点、表記・表現について8点、使用上の便宜について8点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として8点示されております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、生徒が歴史への興味・関心を高める指導の工夫について。2点目、言語活動の取り扱いについて、などとなっております。

続いて、社会の公民的分野について。発行者は7社です。

初めに内容の選択。1点目、東京書籍と教育出版は、ページ構成が統一され、学習課題と学習内容、まとめが明確に位置づけられていることから、生徒が主体的に学習することができる。2点目、清水書院は、各編の導入に当たる表紙のページに著名人等の写真と、その人の言葉を掲載し、生徒の興味・関心を高める工夫がある。3点目、帝国書院は、毎時間の最初に「学習課題」、最後の部分に「確認しよう」「説明しよう」を提示してあり、基礎・基本の定着を図ることができる。4点目、日本文教出版は、「チャレンジ公民」で生徒が具体的な作業や体験学習から、主体的に学べる。5点目、自由社は、序章「現代日本の自画像」で、地理や歴史との関連から公民の導入を図っている。6点目、育鵬社は、巻頭と巻末の2ページを使って写真を多数掲載し、生徒の興味や関心を喚起している。

そのほか、構成・分量について7点、表記・表現7点、使用上の便宜7点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として7点示されております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、使いやすく指導しやすい教科書について。2点目、生徒が興味や関心を高める指導の工夫について、などとなっております。

続いて、地図について。発行者は2社です。

内容の選択。1点目、東京書籍は、日本の地域図では、絵記号でその地域の特色を一目でわかるように提示している。2点目、東京書籍は、巻頭の「この地図帳の活用方法」で、地図帳での学び方を導いている。3点目、帝国書院は、巻頭の「この地図帳の使い方」で、地図帳の紙面構成と地域の特色を捉えるための基本的な使い方を具体的に解説してい

る。4点目、帝国書院は、歴史的分野にかかわる地名・史跡などを紫色の四角に白抜き字で地図中に記載している。

そのほか、構成・分量4点、表記・表現4点、使用上の便宜4点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮4点示されています。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、江東区に関する記載について。2点目、地理の教科書との関連について、などとなっております。

続いて、数学について。発行者は7社です。

内容の選択。1点目、各社とも基礎・基本を重視した内容になっている。2点目、各社とも学習の振り返りをしやすい工夫をしており、練習問題の欄に例題や学習したページが示されている。3点目、各社とも導入部の工夫や作業的課題の豊富さなど、興味・関心を引き出す工夫が多くされている。4点目、各社とも定着が十分でない生徒への対応を工夫している。5点目、教育出版・学校図書・東京書籍・日本文教出版には、特に主体的な学習の補助となる工夫がされている。6点目、東京書籍・大日本図書・教育出版・日本文教出版は、章の学習に入る前に既習事項を学び直す内容が設けられており、生徒が主体的に学習に取り組むことができる。7点目、新興出版社啓林館は、「ひろげよう」から「章のたしかめ」「まとめの問題」など、生徒が実態に合わせて主体的に学習できる。

そのほか、構成・分量9点、表記・表現4点、使用上の便宜6点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として2点が示されています。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、基礎・基本の確実な定着について。2点目、小学校との接続・系統性について、などとなっております。

続いて、理科について。発行者は5社です。

初めに内容の選択。1点目、各社とも基礎・基本を中心に学習内容をしっかり押さえ、十分な内容が適度に選択されている。2点目、東京書籍は、実験の前に「予想しよう」、実験の後に「考察しよう」、内容のまとまりの最後に「学びを活かして考えよう」があり、主体的な学習を促す内容になっている。3点目、大日本図書は、「トピック」や「発展」「くらしの中の理科」、単元の終わりの「学んだことを活かそう」など、主体的・発展的な学習を促す工夫がされている。4点目、学校図書は、実験の前後に「話し合ってみよう」という記述内容があり、主体的な学習や、学習を促す工夫になっている。5点目、教育出版は、単元の配列を、単元1と2を、1分野の「粒子・エネルギー」、単元3と4を、2分野の「生命・地球」という構成にしている。6点目、新興出版社啓林館は、教科書（本冊）とマイノートの2冊構成になっている。授業で学

習した内容を、マイノートを利用して、授業の復習などを自主的に行えるようになっている。

そのほか、構成・分量5点、表記・表現5点、使用上の便宜5点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として5点示されております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、理数教育の重要性について。2点目、自然現象や自然災害の取り扱いについて、などとなっております。

続いて、音楽（一般）について。発行者は2社です。

内容の選択。教育出版は、巻末に楽典が詳細に掲載されており、学習のまとめとして活用できる。また、民謡・伝統芸能などが写真つきで解説され、調べ学習としても活用できる点が良い。2点目、教育出版は、「著作権」「音楽療法」「生活の中の音楽」など、音楽的な視野を広げる読み物が取り上げられている。3点目、教育芸術社は、指導事項・共通事項が明確に明示されており、学習の窓口として生徒が理解し、自主的に表現活動できるための工夫点が掲載されている。グループ学習・表現活動につながるよう楽曲が構成され、主体的な活動を通して、互いの音楽性を深められる内容になっている。

そのほか、構成・分量2点、表記・表現2点、使用上の便宜3点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として2点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、音楽における学習の重要性について、学校行事との関連など。2点目、生徒の歌や音楽に対する取り組み方法について、などとなっております。

続いて、音楽（器楽合奏）について。発行者は2社です。

内容の選択。1点目、教育出版は、「合わせて演奏しよう」のコーナーでは、和楽器とリコーダーを組み合わせたアンサンブルなど、さまざまな合奏形態の教材を扱っている。また楽器パートを選んだり、旋律やリズムを組み合わせて伴奏をつくったりすることのできる活動を設定し、主体的な活動ができるようにしている。2点目、教育芸術社は、巻頭に「発展的学習」として、演奏家の写真とコメントや、アンサンブルに用いられたさまざまな楽器を紹介するなど、生徒が楽器により興味を持ち、学習活動に関心を持って臨めるに配慮している。3点目、教育出版は、その曲で用いるアルトリコーダーの運指がページの端に示され、不得意な生徒の負担感を軽減する。

そのほか、構成・分量3点、表記・表現2点、使用上の便宜2点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮2点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、和楽器の取り扱いについて。2点目、楽器の演奏、見やすさ、読みやす

さなど、各社の編集の工夫について、などとなっております。

続いて、美術について。発行者は3社です。

内容の選択。1点目、開隆堂出版は、「美術2・3」の29ページ「空想からの表現」にある「何が見えますか」「どんな物語を想像しますか」のように学習の広がりを目指すとともに、関連するコラムや資料を適宜配置し、主体的に学習できるよう配慮されている。2点目、光村図書出版は、「美術1」12ページのように、「目標」の文頭にチェックを入れる欄を設け、生徒自らが学習を振り返り、目標が達成できたかどうかを確かめられるよう工夫している。3点目、日本文教出版は、各学年での成長過程と各題材がきめ細かく適合するように、3分冊の教科書になっている。特に2年生と3年生との心の成長の違いを重視し、自分自身を深く見つめたり、夢を持つことに関連した題材を「美術2・3下」で扱っている。

そのほか、構成・分量3点、表記・表現3点、使用上の便宜2点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として3点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、作品の取り上げ方と鑑賞の指導について。2点目、本区とかかわりのある作品について、などとなっております。

続いて、保健体育について。発行者は4社です。

内容の選択。1点目、各社とも学習指導要領に示された基礎的・基本的内容を扱っている。2点目、各社とも各単元の内容を理解するために、適切に項目が配列されている。3点目、学研教育みらいは「ウォームアップ」「エクササイズ」があり、グループなどで意見交換などをして、課題解決型の学習ができる。4点目、東京書籍は「やってみよう」「考えよう」が各章末にあり、生徒がみずから学習内容を振り返ることができるよう工夫されている。5点目、大修館書店は単元の章末に「学習のまとめ」を設け、学んだことが振り返れるよう工夫している。

そのほか、構成・分量4点、表記・表現6点、使用上の便宜4点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として4点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、保健の授業で重要なことについて。2点目、基礎・基本の学習内容について、などとなっております。

続いて、技術・家庭の技術分野について。発行者は3社です。

内容の選択。1点目、東京書籍は、「学習の目標」「導入課題」「基礎学習」「まとめの学習」「振り返りの学習」の流れで、基礎・基本の定着を工夫している。2点目、教育図書は、学習した内容のまとめができるよう、各章末に「まとめ」と「章末問題」を掲載している。3点目、開隆堂出版は、話し合い活動を重視しており、言語活動の充実を図るこ

とができ、思考・判断・表現力を育む指導へとつなげることができる。

そのほか、構成・分量3点、表記・表現3点、使用上の便宜3点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮3点となっています。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、技術と社会や環境の理解、技術にかかわる倫理観などの授業での取り扱いについて。2点目、安全面での配慮など教科書の工夫について、などとなっております。

続いて、技術・家庭の過程分野についてです。発行者は3社です。

内容の選択。1点目、東京書籍は、「生活に生かそう」のコーナーを各要所に設け、みずからの生活を振り返りながら学習を進められるよう工夫がある。2点目、教育図書は、基礎・基本的な事項が習得できるよう「学習の目標」「キーワードチェック」が示されている。3点目、開隆堂出版は、話し合い活動を重視しており、言語活動の充実を図ることができ、思考・判断・表現力を育む指導へとつなげることができる。

そのほか、構成・分量3点、表記・表現3点、使用上の便宜3点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として3点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、調理の内容について。2点目、保育実習の内容についてなどとなっております。

最後に外国語（英語）について、発行者は6社です。

内容の選択。1点目、東京書籍は、「学び方コーナー」で、英語の学習を進める上でヒントとなることをまとめており、主体的な学習を促している。2点目、開隆堂出版は、「Basic Dialogue」で文脈の中で基本文が示されており、文法について参照するページも示されている。3点目、学校図書は、3段階の繰り返し指導の機会、ReviewやPre-Lesson等を設け、基礎・基本の定着を図っている。4点目、三省堂は、各レッスンにおいて、ポイントとなる言語材料を使って基本的な学習活動ができるようになっている。5点目、教育出版は、基本文ごとに「ここがポイント」として詳細な説明があり、主体的に学習でき構成となっている。6点目、光村図書出版は、文法を整理するページがあり、基本文を復習できる。

そのほか、構成・分量6点、表記・表現6点、使用上の便宜6点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮6点となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、1点目、聞く・話す・読む・書くの4技能が、バランスよくとれていることについて。2点目、本区の現状と実践的なコミュニケーション能力の育成について、などとなっております。

結果報告書についての説明は以上です。

岩佐教育長 江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会結果報告書についてと、それから採択資料作成委員会で話題になったことについて、ただいま説明がありました。

この後、前回の採択のときの教育委員会での採択理由と、採択した教科書について事務局から説明がありますが、ただいま説明がありました件につきまして、何か質問等ありましたら、いただければと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 では続いて、事務局のほうから説明をお願いいたします。

佐久間主任指導主事 平成27年度に教育委員会で採択しました教科書と、その採択理由について説明させていただきます。

初めに国語です。1点目、ねらいが明確に示されていること。2点目、基礎・基本の定着に活用が図れること。3点目、言語活動について工夫があること。以上の3点から、光村図書出版を採択しております。

次に書写です。1点目、書写の基礎・基本を身につけるための工夫があること。2点目、資料が豊富で、生活や他の学習に活用することができ、生徒の主体的な学習を促す工夫があること。以上の2点の理由により、光村図書出版を採択しております。

次に社会の地理的分野です。1点目、生徒が興味・関心を持って学習に取り組みやすいこと。2点目、教科書の構成に工夫があること。3点目、言語活動がバランスよく充実していること。4点目、我が国の領域に関する記載に工夫があること。以上の4つの理由により、東京書籍を採択しております。

次に社会の歴史的分野です。1点目、見通しを持って学習を進められる工夫があること。2点目、言語活動がバランスよく充実していること。3点目、多様な見方や考え方を持たせる工夫があること。4点目、時代がわかる表記上の工夫があること。以上4つの理由により、教育出版を採択しております。

次に社会の公民的分野です。1点目、学びやすく、指導しやすい教科書であること。2点目、言語活動が充実していること。3点目、裁判員制度にかかわる内容に工夫があること。4点目、選挙についての内容に工夫があること。5点目、資料が豊富でバランスよい構成になっていること。以上5つの理由により、東京書籍を採択しております。

次に地図です。1点目、主体的に学習に取り組むことができる地図。2点目、国名、町村名の表記に工夫があること。3点目、江東区に関する記載がより充実していること。以上3つの理由により、帝国書院を採択しております。

次に数学です。1点目、基礎・基本の徹底に向けた工夫があること。2点目、言語活動が充実していること。3点目、個に応じた指導に工夫があること。4点目、小学校との接続、振り返る学習について工夫があること。5点目、学習内容についての記述が丁寧であり、本区の実態に適していること。以上5つの理由で、東京書籍を採択しております。

次に理科です。主体的に学習に取り組める工夫があること。2点目、観察・実験の取り扱いに工夫があること。3点目、生命尊重、自然環境の保全についての資料が充実していること。4点目、安全面への配慮の記載が充実していること。以上4つの理由により、東京書籍を採択しております。

次に音楽（一般）です。1点目、音楽会や合唱コンクール等で活用できる、親しみやすい曲が掲載されていること。2点目、儀式的行事での歌の取り扱いに工夫があること。3点目、鑑賞の内容に工夫があること。4点目、編修上の工夫があること。以上4つの理由により、教育出版を採択しております。

次に音楽（器楽）です。1点目、和楽器の内容が充実していること。2点目、資料に工夫があること。3点目、個人練習の手立てとして工夫があること。4点目、掲載されている曲が多く、親しみやすいこと。以上の4つの理由により、教育出版を採択しております。

次に美術です。1点目、生徒のイメージを広げる編集上の工夫があること。2点目、本区とかわりのある作品の授業での活用が期待できること。3点目、学習の見通しが持て、生徒の学びに生かせる工夫があること。以上の3つの理由により、開隆堂出版を採択しております。

次に保健体育です。1点目、オリンピック・パラリンピックの記載が充実していること。2点目、心身の発達と心の健康の内容に工夫があること。3点目、自然災害・防災についての学習内容が充実していること。4点目、健康・安全に関する今日的な課題について工夫があること。5点目、編修上の工夫で授業における活用が期待できること。以上の5点の理由から、学研教育みらいを採択しております。

次に技術・家庭の技術分野です。1点目、安全指導や環境問題についての記載に工夫があること。2点目、情報モラル、情報に関する内容が充実していること。3点目、教科書に編修上の工夫があること。4点目、言語活動が充実していること。以上4つの理由により、開隆堂出版を採択しております。

次に技術・家庭の家庭分野です。1点目、安全指導や環境問題についての記載に工夫があること。2点目、共生や人権の取り扱いが充実していること。3点目、保育実習の内容に工夫があること。以上3つの理由により、開隆堂出版を採択しております。

最後に外国語（英語）です。1点目、実践的なコミュニケーションを重視していること。2点目、4技能がバランスよく構成されていること。

3点目、英語スタンダードの確実な定着や発展的な学習に活用できること。以上の3点の理由から、三省堂を採択しております。

説明は以上です。

岩佐教育長 現在使用している教科書と、その採択理由について説明がありましたが、何か質問等がございますでしょうか。

橋本委員 現在、中学校で使用している教科書ですが、先生方から指導に対して事務局に不満の声とか、指導しにくいとか、そういった声はあったのでしょうか。

伊藤指導室長 そういった声をお聞きすることはありません。

鈴木委員 採択理由が細かく書かれていて、内容はよくわかりました。いずれもよく研究した結果の採択だというのは、わかりました。

1点だけ、ちょっとどういうことかなと思うのがあるんですけども、数学の5つ目のところに、学習内容についての記述が丁寧であり、本区の実態に適していることと書いてあるんですけども、この「本区の実態に適している」というのは、どういう解釈なのかなど。もしわかれば、教えていただきたいと思います。

伊藤指導室長 基礎・基本の徹底が必要な子供たちに対して丁寧な対応ができる教科書であると同時に、発展的な学習に臨む子供たちにも対応できるということ。また、少人数指導等にも対応できる教科書であるということ。そのことが大きな理由となっております。

以上です。

鈴木委員 わかりました。ありがとうございました。

岩佐教育長 よろしいでしょうか。
ほかには、よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 これまでに事務局から、江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会結果報告書等について説明がありましたが、冒頭での事務局の説明と今のお話から、今回、採択する教科書につきまして、令和2年度のみ1年間だけの使用となること、そして、平成30年度の教科用図書検定において、新たな図書の検定申請がなかったこと、さらに現在使用している教科書に特段の問題点が見られないこと。以上の3つの理由から、現在使用している教科書を採択したいと存じますが、ご異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 ご異議はありませんので、令和2年度に中学校及び義務教育学校後期課程で使用する特別の教科道徳以外の教科書は、国語、光村図書出版。書写、光村図書出版。社会（地理的分野）、東京書籍。社会（歴史的分野）、教育出版。社会（公民的分野）、東京書籍。地図、帝国書院。数学、東京書籍。理科、東京書籍。音楽（一般）、教育出版。音楽（器楽）、教育出版。美術、開隆堂出版。保健体育、学研教育みらい。技術・家庭（技術分野）、開隆堂出版。技術・家庭（家庭分野）、開隆堂出版。最後に外国語（英語）、三省堂を採択することといたします。

岩佐教育長 報告事項の追加についてお願いいたします。

堀越教育支援課長 先ほど、報告をさせていただきました報告事項1、SNS教育相談について追加の報告をさせていただきたいと存じます。

先ほどご質問いただきました予算でございますが、予算については260万8,632円を予算として計上しております。

落札価格でございますが、205万5,250円となっております。

以上でございます。

岩佐教育長 よろしいでしょうか。先ほど、保留になっていた件ですが、よろしくお願ひします。

鈴木委員 わかりました。

岩佐教育長 それでは、以上で傍聴案件の審議は終了しましたので、傍聴人の方は事務局の指示に従いご退室願ひます。

それでは、以上をもちまして、令和元年第7回江東区教育委員会定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。